



よしだ 議会だより



はつらつママさんバレーボール in よしだ

第90号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成30年8月発行
責任者 議長 藤田和寿

30年第2回定例会

2P

一般質問 6人が町政を問う

4P

委員会報告

10P

第16回議会報告会

12P

町のボランティア団体紹介

15P

学校環境整備事業

トイレ洋式化へ全面改修

部活動指導員の報酬

日額 12,400円
/7時間45分
(時給 1,600円)

7部活8人の指導員の
予算を計上している。

問 部活動指導員の報酬が、月額ではなく日額なのはなぜか。

答 働き方に着目して、部活動の終了時間が曜日や大会のある月によって違うので、日額が妥当と考えた。

特別職の職員で非常勤のものものの報酬に関する条例

条例の一部改正

第2回定例会が6月1日から15日までの会期で開催され、専決処分事項の承認3件、条例の一部改正5件、規約の一部変更1件、人事案件1件、工事請負契約1件、計11議案を審議し、全会一致で可決・同意した。
また、議員発議案として議会基本条例の一部改正1件を可決した。

吉田町税条例の一部改正

吉田町都市計画税条例の一部改正

吉田町介護保険条例の一部改正

吉田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

専決処分事項の承認

吉田町税条例の一部改正

吉田町都市計画税条例の一部改正



吉田中学校 なぎなた部 提供 吉田町教育委員会

吉田町国民健康保険条例の一部改正

問 負担軽減額と賦課限度額引き上げにより、加入者への影響は。

答 前年度実績によれば、負担軽減額の町内加入世帯への影響は、併せて13世帯である。
また、賦課限度額の引き上げは、高額所得者に影響があると考えている。

規約の一部変更

静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約

人事案件

吉田町固定資産評価審査委員会の委員の選任
川尻1546番地
村松 晴雄 氏

工事請負契約の締結

平成29年度(繰越明許)トイレ改修工事請負契約の締結

問 3校一括発注だが、別々の発注の方が、工期は8カ月も掛からないのでは。

答 個別で工事を発注した方が、工期も早まるが、生徒・児童の安全性や学校運営面を考慮して、工事実績をふまえ、一括発注にした。

問 来年2月28日までの工事期間だが、全面使用禁止になるのか。

答 工事期間中でも、全面使用禁止にはならない。
一部使用可能であり、工事終了箇所では、随時使用できるようにする。

工 事 名	平成 29 年度（繰越明許）学校施設環境改善交付金事業 住吉・自彊小学校及び吉田中学校トイレ改修工事
入札方法	制限付き一般競争入札
契約金額	290,520,000 円
契約相手方	島田市 大河原建設株式会社

工 事 概 要	工事期間	30年6月18日～31年2月28日
	工事内容	内装工事・解体工事・仮設工事・電気設備工事・衛生設備工事一式 ・住吉小学校 校舎トイレ 12 カ所全面改修 腰掛洋式便器 65 基、腰掛小便器 40 基 ・自彊小学校 校舎トイレ 5 カ所全面改修 腰掛洋式便器 36 基、腰掛小便器 27 基 ・吉田中学校 校舎トイレ 13 カ所全面改修 腰掛洋式便器 81 基、腰掛小便器 61 基

30年第1回定例会で審議し可決した、
その後のトレーニング室の状況

町民待望・トレーニング室機器を一新

総合体育館のリニューアルオープンに併せ町民の健康づくりの充実を図るため、安全で安心してトレーニングができるように、インストラクターを常時配置し機器を一新した。

- ◆有酸素マシン6台
- ◆筋力系マシン6台
- ◆体組成計1台

体組成計で体成分分析ができる。自分の目的に合ったメニューを作成。ウエルネスキーを機器に差し込めば運動量が記録され結果がわかる。有酸素運動では、心拍数、消費カロリーが表示が出る。ウエルネスキーが無くても機器は使用できる。



太田インストラクター



山内インストラクター



トレーニング室

30年度	4月	5月	6月
講習会受講者	331	177	132
※一般利用者	736	1158	1244
(29年度)	(188)	(165)	11日まで(54)
合計	1067人	1335人	1376人

※一般利用者の人数は延べ人数

question

問

教育長発言は事実と違う、真意は

answer

答

意図および発言の趣旨と違う

3月15日付の朝日新聞「夏休み短縮教育の現場の沈黙」と題する記事で、浅井教育長の発言は事実と反する内容や言論の自由を侵害する行為がうかがえることから、その真意を質問した。

問 吉田町議会が主催

した出前会議（議会基本条例第8条に規定）を、記事では「会は特定政党の議員が開いたもの」と発言しているが事実誤認である。真意は。

答 議会は二元代表制の一翼を担う議事機関であり、「出前会議」は町民との意見交換の場であることは認識している。記事はまた聞きの内容で、意図・発言の趣旨とは違う。

問 記事中、「通信の発行をやめて」「傍聴は好ましくない」など

教員の通信や表現の自由を侵害する発言があるが問題である。

答 「通信」は管理職

や教育委員会の対応を批判する内容と感ずることがあり、校長から「通信の発行をやめて」と依頼した。傍聴者は、教職員組合の役員であり、行動には一層の配慮をしてもらいたいとの思いからである。

問 「特定政党の議員」

「特定の政党」という表現があるが、関係者からは「共産党」と言われたと聞いている。なぜ政党名を出したのか。

答 個別具体的な政党

を念頭においたものではない。一般論として「政党に所属する議員もいる」という意味で発言した。「特定政党」がどこかは答えられない。記事では政党の名前は出ていない。

問 記事中、「君

の所属する職員団体にはもう協力できない」とあるが、何が協力できないのか。不当労働行為ではないか。

答 それぞれの

立場を尊重しあう関係であり、TCPトリビンスプランに対してどうだろうかという思いで話した。プランで交渉できるものがあるのか。

教育を語る会など教育委員会と組合が行う場合、協力できないということだ。

問 教育長の一連の行

為や発言は「個人の尊厳を重んじ、豊かな人間性を備えた人間の育成を期する」という教育基本法の精神に反するのではないか。

答 教育基本法の精神

に反するとは考えていない。



昨年8月に開かれた出前会議



大石 巖 議員

町政を問う

question

問

健康づくり教室の課題は

answer

答

参加者の固定化、男性の参加不足

第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画について、人生100年時代に向かっていく中で、不幸にも健康を害された方やそのご家族、健康不安を持つ方に関し事業計画に示されている現状・課題および今後の方向性を質問した。

問 「健康に関心が低い」理由と対策は。

答 「健康に関心が低い」とは、町の健康づくり施策に参加する意欲が希薄な方を指し表現している。健康づくりへの関心を持つってもらうための諸施策として、例えば「健康マイレージ事業」目標を達成することでポイントが貯まり、協力店でサービスが受けられるものがある。

問 男性参加者を増やす手だては。

答 男性が参加しやすい、男性に特化した教室開催を検討している。
男性の居場所づくりとして「健康麻雀教室」を本年9月から開催する。

問 「認知症初期集中支援チーム」とは。

答 医療や介護の専門家、家族の相談などにより認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族を

直接訪問し、必要な医療、介護サービスの導入の調整を行い、初期の支援を包括的に約半年間集中して行い、自立生活のサポートを行うものである。

問 「高齢者見守りオレンジシール」について町民への周知、PR対策は。

答 このシールは、認知症により徘徊の恐れがある方の靴、カバンに貼る反射シールであり、地域包括

支援センターに相談の上、見守りリストに事前登録することで交付される。

自治会単位で開催予定の高齢者見守り

声かけ訓練など活用し、地域全体を巻き込む形の周知に努めている。また、商会などにも声を掛け周知を図っていく。



高齢者居場所づくり おしゃべりサロンカフェ



増田 剛士 議員

question

問

町民の移動手段の具現化の考えは

answer

答

調査のための予算を来年度に計上

町長のマニフェスト「福祉社会の建設」の中の「生みやすく、育てやすい環境の整備」「健康を維持しやすく、社会に参加しやすい環境の整備」の二つについての進捗状況について質問した。

「生みやすく、育てやすい環境の整備」について。

問 よしにこパッケージの創設などがあるが、利用者の状況および妊産婦への今後の事業展開は。

答 29年度は203人の申請があり、198人の方へ助成した。本年度に入ってから、新たに47人から申請していた。産後間もない時期に行う検査費用の自己負担分についても補完した。



吉田町 母子健康手帳

本年度から産後おむね8週間までの産婦さんを対象に、心と体の健康状態を確認する産婦健康診査を開始し、産後の初期段階における母子に対する支援を強化した。

問 乳房ケアの助成が始まったが、利用者の状況は。

答 始まったばかりの事業であるため、申請者は少ない。申請があつた方には状況を確認し、より有効なサービスとしていきたい。よしにこダイアリーでのお知らせや母子手帳交付時に周知を図っている。

「健康を維持しやすく、社会に参加しやすい環境の整備」の社会に参加しやすい町民の移動手段について。

問 社会に参加しやすい町として、身体に障害のある方や高齢者への現在の移動手段は。

答 個々の利用者に合わせてヘルパーが外出のための支援を行うもの、自力で外出困難な高齢者の方の送迎支援ボランティアにより目的地まで送迎や重度心身障害者対象のタクシー料金2分の1を助成するもの、新しい事業の「通所型サービ

スB」が、他に「福祉有償運送」、「介護タクシー」「通院等介助」がある。

問 「健康を維持しやすく社会に参加しやすい環境の整備」について、具現化をどのように考えているのか。

答 自力での移動が困難な高齢者の方は1割程度だが、2025年問題もあり、移動媒体の実態を調査する必要がある。意見集成的方々の考えを聴き、具体化していく作業をしていく。そのために来年度の予算に計上する。



議員 蒔田昌代

町政を問う

question

問

TCPTリビンスプランの具体化は

answer

答

車座対話で意識を共有化し実践

今年度「教育環境の充実」でプランの推進を挙げている。子どもの「確かな学力」を保障する、教職員が授業に専念できる、保護者の教育のニーズに応えるとする環境づくり。その他教育環境の充実に資する取組について質問した。

問 幼児教育カリキュラムの実践状況とスタートカリキュラムへのつなぎ方は。

答 新幼稚園教育要領および新保育所保育指針が示す幼児期に育ってほしい10項目、自己から友達へ、友達から集団へと人間関係が広がり深まっていくよう実践している。

小学校へつなげるよう教科の中に10項目を関連させてスタートカリキュラムを進めていく。

問 小中一貫教育の第1回会議の内容と今後の計画は。

答 國學院大学の教授を座長に小中学校教員、保護者、自治会関係者を構成員として「小中学校のつながりのある教育検討委員会」を設置した。目指す子ども像は、「行動力」や「主体性」を身に付けてほしい、「自分で判断する力」「問題を発見する力」を身に付けてほしい、「郷土愛」を大切にする

子に育ってほしいという意見が挙がった。どのような小中のつながりを目指すかについては、総合的な学習の時間を核として、小中学校でカリキュラムを意図的に構成しつなげていくという意見があった。

今後目指す子ども像を明確にし、つながりを具体的に考えたい。



第1回吉田幼児教育カリキュラム実施委員会

問 教職員と教育委員会の車座対話は。

答 教職員と教育委員会で意識の共有を図りながらプランを充実させることが目的である。

出席者は教育委員会などと、各校の管理職、主任、事務職



遠藤孝子 議員

員、養護教諭、希望者などで、10月までに10回の開催を予定している。

5月7日に行われた車座対話では、

①「授業日の平準化」以外の施策の現状と課題

②「授業日の平準化」の現状と課題

③新学習指導要領への対応や働き方改革を進める上で、学校としての課題や要望

の三つの議題について意見交換を行った。今後も意見交換を重ね、先生方の思いをくみ取り、来年度の教育課程の編成などに生かしていく。

question

問

部活動は全員加入制ではないのか

answer

答

学校の判断で加入しなくても良い

本年度から部活動へ加入しなくてもよいと聞きました。部活動は学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養かんようなどに資するものです。部活動の未加入生徒が増えると学校の風紀が乱れるのではない、質問した。

問 変更の理由は。

答 現在、クラブチームなど、部活動と同様な活動を行える場所が増えてきた。吉田中学校の生徒も約80人がクラブチームなどに加入している。

クラブチーム加入者でも部活動への加入が強制されると、自身が取り組んでいる競技以外の部活動に籍だけを置き、参加しないが活動費を支払う状況が生じていた。

部活動自体の意義

や価値は重要であるが、加入ルールの見直しを昨年度末に行った。

問 変更の内容は。

答 これまでの部活動への全員加入制をやめ、本年度より、クラブチームなど、個人レッスンではなく、集団の中で行われる活動を前提として、部活動と同等の活動を行っている学校が認める場合に限る、部活動に加入しなくてもよくなった。

問 変更になるまでの過程については。

た。

答 昨年12月から、校長をトップとした管理職など(部活動担任兼任)を含めた検討の場を設け協議した。1月には学年主任者会で検討およびPTA会長に相談した。

また、同時平行で、1月から2月にかけて教育課程編成部会の生徒指導部において検討した。最終的

には、教職員全員による教育課程編成全体会でも検討し、了解を得、最終的に学校として決定した。

本年4月より新しいルールの下で部活動の運用を実施している。

問 本年度変更があり、今後の部活動と学校教育との関係について、どのように考えているか。

答 部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われる教育課程外の活動である。

ただ他方で、学校施設が使用される場合も多く、実態として教員が指導していることや、これまで部活動が果たしてきた意義や役割を踏まえ、教育課程との関連を図りながら、学校教育の一環として行われるものであると捉えている。

また、同時平行で、1月から2月にかけて教育課程編成部会の生徒指導部において検討した。最終的に



部活動の様子



八木 栄 議員

町政を問う

question

問

神戸1号汚水幹線の供用開始時期は

answer

答

現時点で示すことはできない

30年度公共下水道事業特別会計は12億181万円
一般会計（税収入）からの繰入金金は6億6091万円
55%である。一般会計当初予算106億3700万円と比較
しても11%の大プロジェクトである。

問 北区には、神戸1号、2号、3号汚水

幹線および、大幡汚水幹線がある。神戸1号汚水幹線の供用開始時期は具体的に何年頃か。

答 現計画の目標年次は47年度。

今後の整備については、国の補助金施策の影響も大きく計画通りには整備が進捗しないことも考えられ、現時点では示すことが難しい。



公共下水道事業計画図

問 浜田土地区画整理

事業対象区域37ヘクタール、「しらさぎ団地」2ヘクタールの拡大変更事業計画の策定はなぜ今なのか。建物の計画戸数は。

答 一部の商業施設の誘致は決まっているが、それ以外のところは把握できていない。

問 なぜ浜田土地区画

整理事業なのか。答 国事業自体が優良宅地を生み出す事業であるから。

問 施工期間の計画は。

答 浜田土地区画整理事業対象区域としら



山内 均 議員

さぎ団地を合わせた施工期間は4年間。

問 事業費の算定は。

答 浜田土地区画整理事業、しらさぎ団地の管渠工事費は10億7100万円。

問 公共下水道事業計

画区域の縮小と環境省の合併浄化槽などに変わっていく必要な時が来ると思っっている、どう思うか。

答 どういった効果的、効率的な代替施策を用いることができるかということを念頭において考えていかなければいけないと思っっている。

総務文教常任委員会調査報告

生活交通の確保について

調査の目的
高齢化に伴う自動車運転免許の返納や運転免許証を持っていない方たちにとって必要となる移動手段を確保するために調査をする。

・委員会報告

4月23日

第16回議会報告会のトピックス、「生活交通の確保について」はパワーポイントを利用し、近隣市で行っている自主運行バスやデマンドタクシーの事例を参考に調査することとした。

5月21日

今後の委員会の進め方を協議した。
①報告会に参加した皆さんからアンケートを頂き、結果をベースとして協議することとした。
②今後は、アンケートのまとめをもとに、質問事項を決め、担



藤枝市 コミュニティーバス



牧之原市 自主運行バス

当課に説明を求めることとした。
委員長 山内 均

産業建設常任委員会調査報告

道路・河川及び都市公園の管理及び整備について

豪雨時の道路冠水や劣化した道路の補修、河川の改修や管理について、町民から行政に対する要望を調査、研究する。

4月18日

「河川の管理及び整備について」の中間まとめを協議した。
都市公園の調査は、現状を把握し、現地調査、当局から説明を受ける進め方で行うこととした。

5月9日

「河川の管理及び整備について」の中間まとめの文書整理を行う。
「都市公園の管理及び整備について」は当局より説明を求めることとした。



坂口谷川第1排水機場

5月29日

「河川の管理及び整備について」の中間まとめを決定した。

中間まとめ

1. 河川に関する議会報告会での意見、要望等をもとに課題を整理した。
2. 現状と課題について当局に質問し回答を受けた。
3. 現地調査により状況を確認した。
4. 以上の調査をもとに現状と課題をまとめた。
- ①吉田町内全域の降雨量に対する排水計画について
- ②河川の草刈りや清掃について
- ③湯日川の整備計画について
- ④稲荷川の排水対策について
- ⑤住吉川の排水対策について
- ⑥坂口谷川への排水対策について
- ⑦大幡川(大窪川)の整備について

委員長 大石 巖

吉田町教育改革調査特別委員会

3月30日

第9回特別委員会を
開会。

出席委員6人、番外
1人。当局からは、浅
井教育長、栗林理事兼
学校教育課長、塚本理
事、内田子ども未来課
長ほか4人が出席。

「新しい方向性のT
CPTリビンスプラン
に関する疑問点につい
て」当局に質問し、回答
を受け質疑応答をし
た。

質問事項

1. 新しい方向性につ
いて
2. 教育委員会の京都
市への視察内容につ
いて
3. 30年度の各小中学
校の教育計画につい
て

回答に併せて資料の提
供を受けた。

また、学校教育課に



吉田中学校

対し、町内各小中学校
の30年度授業時間数に
ついて資料提供を依頼
した。

次回特別委員会開催
にあたり、「教育委員
会」「総合教育会議」
などの組織、規定につ
いて調査することを決
定した。

委員長 八木 栄

議会ICT推進特別委員会

3月28日

フェイスブックへの
4月の掲載事項と担当
者を決めた。また、サ
イボウズの使用操作に
ついて実践を行い、技
術の習得を図った。

次回から議会イン
ターネット配信および
機器について協議する
ことを決めた。

4月27日

フェイスブックへの
5月の掲載事項と担当
者を決めた。また、議
会活動を町民の皆さん
に理解していただくた
め、各常任委員会、議
会運営委員会、特別委
員会および議会改革推
進会議の協議結果を
フェイスブックに掲載
する。

1. 掲載日は会議開催
の当日
2. 掲載者は、委員長

または副委員長

3. 視察などは、速報
性を持たせるため当
日掲載

4. サイボウズを利用
して、議員の情報の
共有化を図る
以上のことを決めた。

5月11日

29年度の議会フェ
イスブックへの投稿の
リーチ数を分析した。
リーチ数の多かった
ものは次のとおり。

1. 第3回議会定例会
2. 教育改革に関して

5月25日

フェイスブック6月
掲載事項と担当者を決
めた。

また、各常任・特別
委員会などへの投稿依
頼を6月1日に依頼す
ることを決めた。
委員長 杉本 幸正

議会広報特別委員会

3月28日

吉田議会だよりを、
町民にさらに見やすく
するために充実を図る。

5月発行吉田議会だ
より第89号の誌面から、
「より読みやすく、
より見やすい」ユニ
バーサルフォントを
使い、読みやすい文
字のゴシック体、明
朝体の太い文字に変
更する。

5月21日

議会だよりを変更し
たことで、議員の意見
を聞き、委員会で協議
していくことを決定し
た。

委員長 三輪美田紀



議会だより 編集会議

について意見交換

議会基本条例に基づき、5月21日から24日まで町内4会場で議会報告会を開催しました。

町民130人の皆さんに参加いただき、議案審議と「生活交通の確保について」を報告し、4グループに分かれて、テーブルを囲み意見交換を行いました。

今回は、さわやかクラブ、居場所づくりグループの皆さんに参加依頼いたしました。ご協力ありがとうございました。

詳細については報告書を作成しましたので吉田町ホームページをご覧ください。

29年度一般会計補正予算、30年度予算

問 ふるさと納税の使い道はどうなっているのか。

答 寄付をしていただく際に使い道の指定ができるので、要望に沿って予算に入れている。

問 小中学校のトイレ改修の終了予定は。

答 6月議会です工事契約が決まり今年度中に完成する予定である。

問 放課後児童クラブ

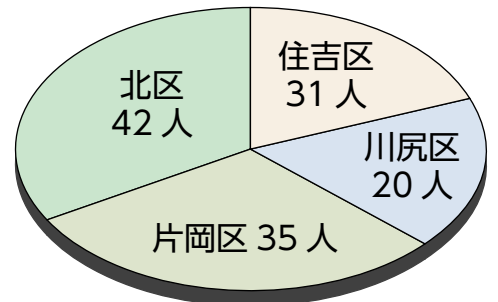
問 各小学校一カ所ずつ増設されるが、場所は決まったのか。

答 契約前であり、設置場所の報告は受けていない。

問 介護保険料は他の市町に比べて安いのはなぜか。

答 高齢化率が24.1%と低いこと、高齢者自立支援などの取り組みにより健康な人が多いこと。

アンケート回答者数 128人



問 中学校の部活動の補助に予算がついたが、単価や採用条件はどうなっているのか。

答 7部について8人の補助員を採用する予算を計上しており、非常勤職員となる。日額1万2400円（時給1600円）の報酬を条例化した。採用条件は未定である。

問 北区は下水道事業の区域に入っていない。不公平である。計画を明らかにしてほしい。

答 全体計画区域（920ha）には農用地を除いて北区の区域も計画されている。しかし、事業計画区域には指定されていないので、今後事業区域に指定されれば下水道工事が施行される。

問 「地域おこし協力隊」の業務内容は。産業課、企画課に所属し、観光協会イベント企画や町の情報発信を行う。また、移住促進に関する事業に



北区自彊館

も参画する。

問 多目的広場の活用方法は。

答 水産振興に寄与するとともに、にぎわいを創出するよう活用を主として、今後、上部利活用検討委員会や静岡文化芸術大学の学生の協力をい

問 公設学習塾の費用は増えたのか。

答 今年度から、吉田中学校開校から3小学校と中学校で

高齢者の移動手段

増えるので経費が増えた。

能満寺山公園の予算はどのように付いているのか。また、効果はどうか。

能満寺山公園や展望台小山城、売店、芝生広場などの管理費として、30年度は2187万円計上されている。効果は、小山城の年間入場者数は28年度1万7025人、夜桜ライトアップ来場者は1928人で、いずれも27年度比で増加した。

下水道工事を行う場合、工事費用の補助はあるのか。

工事費用の補助はないが、排水設備工事資金融資あつせん事業があるので上下水道課に申請してください。

国保税が高いのはなぜか。

町は国保会計に法定外繰り入れを行っていないこと、国保加入者の年齢が比較的若く所得の高い方の割合も多いため。

吉田町の一人当たりの介護保険料はいくらで県内で何番目に高いのか。

30年度の月額保険料基準額は4800円で、県内で2番目に安い。



片岡会館

大窪川の治水工事を早く進めてほしい。

国補事業で大幡川から進めており、大窪川は来年度より片岡地区の上流に年85m計画で進め46年度完成を目標としている。

北オアシスパークができ、車の流れが変わった。県道は子どもの横断が危ない。信号機を付けてほしい。

担当課で、既に牧之原警察署へ交通規制の要望を提出している。

念仏橋を渡る人がいるが、管理危険防止策を具体的にしたいほうがいい。

念仏橋は危険レベル4（緊急措置が必要）で、立ち入りできないようなネットフェンスなどの措置をしている。

通学路の設定がおかしいところがある。

見る。見直しを願う。

各学校が現行の通学路に対し、それぞれの通学班の保護者の意見を子ども会単位で聴取し、通学路の検討を行い、毎年見直しをしている。

町の大きな建物の耐震化はどうなっているのか。

調査は終わっているが、耐震補強は終わっていない建物がある。（体育センター）

放課後児童クラブは、定員オーバーで行けない児童が既にある。倍率は1.8倍となっている。事前の見込みが甘すぎたのではないか。

29年度は、登録されている児童の全てを受け入れている。定員オーバーで登録できない事実はない。要件に満たない児童は登録できないが、今

後、要件の緩和を行って、より多くの児童が登録できるようにする。

国道19号の車を撤去した場所の橋を早急にやって欲しい。

島田土木事務所において、今年度内に工事を完了する予定である。



住吉会館

「生活交通の確保」について、出されたご意見

- 自動運転免許がなくなるときの「返納後」が心配である。
- 79歳だが、生活に困るので免許証を返納できない。
- 巡回バスの欠点は、目的地までの時間がかりすぎる点にある。コンパクトな路線の組み方が必要。利用者の意見を十分に取り入れた路線配置が重要である。
- しずてつジャストラインの赤字補填だけでなく、路線の見直しや運行時間の見直しも必要である。
- 乗り合いタクシーがあるといい。
- 実情を調べ、実態や需要が分からないといいものができない。
- 病院や町内を回る巡回バスや乗り合いタクシーのようなものを考えてほしい。
- タクシーのように、呼んだらすぐ来るものがいい。横浜市では年間2万円のフリーパス制度がある。
- 車いすごと乗れるタクシーを頼んでも台数が足りない。自家用車でも車いすを利用できる車を購入する補助が欲しい。
- 社会福祉協議会のバスは、北区では火曜・木曜に出ている。もう少し細かく停まってほしい。
- 老人会の帰りが大変、80代はタクシーで帰る。割引タクシー制度をつくってほしい。



川尻会館

- さわやかクラブの会員減少の一因は、参加したくても移動手段がなく、行けない状況であり、脱会している。身近な生活交通は重要である。
- 高齢者の移動手段としてシニアカーの利用がある。しかし、道路が狭くて危険。シニアカーでの移動ができる環境整備を。

議会報告会に寄せられたご意見

- 大勢の皆さんが出席し、若い方々の意見も聞けてよかったです。
- 吉田町の事業の方向づけが理解できた。
- 町の予算がどのように使われているかわかった。
- 議員さんと直接お話しできてよかった。
- グループ討議で多くの話し合いができた。
- 和やかな雰囲気で見交換できた。
- 議会のことはほとんど知らなかったが、説明により理解できた。
- 町民同士でコミュニケーションが図られたのもよかった。
- 何でも話せて和気あいあい楽しかった。
- この会である程度の要望は言えるのでよい。
- 予算など関係ないと思っていたけど説明を聞き理解できた。
- 説明者の声が聞きとりにくかった。
- 予算の資料をもっと充実させて、話題づくりした方がいい。
- 報告者の説明をもう少し分かりやすくしてほしい。
- 単なる数字の羅列、報告者自身が満足しているように見えた。
- 後ろの方の席で、声が小さかった。
- 早口すぎる、言語不明確でない。

皆さんから頂いたご意見は、今後の議会活動に反映していきます。



- 質問に対し、もっと踏み込んだ回答があった。もっとよいと思った。
- 議会をネットで見られるようにしてください。

町のボランティア団体紹介

自彊わくわく教室

平成17年結成 ボランティア登録数22人

お堂から小学生の元気な声が聞こえてくる。

北区地域教育推進協議

会「自彊わくわく教室」が、自彊小学校4年生から6年生を対象とした2泊3日の通学合宿「自彊わくわく宿」を6月14日から神戸の長源寺で実施しました。

合宿に参加した46人は地域のボランティアの皆さんの指導のもと友達と協力しながらの食事づくりや寸劇、座禅などを体験しました。年間を通じてさまざまな工夫を凝ら



和田住男会長

したイベントを行っている自彊わくわく教室。

会長の和田住男さんに話を聞きました。

「近年、地域コミュニティーの希薄化が指摘されていることを耳にします。私たちは『地域の子どもは地域ではぐくむ』を合言葉に地域の子どもの育成を目的としています。親同士や近所同士など地域のコミュニケーションも大切に活動をしています。さまざまな体験を通じて大人から子ども、子どもから次世代の子どもに受け継がれていけばと思っています。自彊わくわく教室に参加した子どもたちが成長していくのを楽しんでいます。」



長源寺の座禅体験（通学合宿）

30年の主な行事

- 自彊わくわく宿(通学合宿) 6月14日～16日
- 肝試し&花火大会 7月29日
- 自彊ふるさと探検ウォーク 11月10日
- 自彊クリスマス飾りつけ 12月9日
- フラワーアレンジメント 12月27日
- 放課後自彊わくわく教室 通年(年間16回)

30年度の吉田町議会目標が決定! 目標達成に向け努力していきます!

目 標	取 組 内 容
議員の責務を果たす	・吉田町議会基本条例に基づき行動する。
	・議会改革推進会議において、吉田町議会基本条例を再確認する。
会議の活性化を図る	・情報や論点を共有化し、議論する。
情報の発信を充実させる	・ICTを活用して情報発信を行う。
住民の意見を反映する	・議会報告会や出前会議で、住民の意見を聴取し、議会活動に生かす。

吉田町議会基本条例に基づき、議会改革推進のため議会目標を決めています。

※30年度末に達成度を評価して公表します。

議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。

こちらからどうぞ

<https://www.facebook.com/yoshidachougikaiict>

動画や写真のスライドショーなど、議会活動の様子をご覧ください、ご意見をお寄せください。



(QRコード)

第16回吉田町議会報告会出席のお礼

第16回議会報告会には多くの方々のご参加をいただき、誠にありがとうございました。
議会報告会でいただいたご意見やご要望は報告書をもって回答させていただく所存であります。
次回のご出席をお待ちしております。



まちの話題



シャンソン バasketボール教室



うなぎ出荷の選別



川尻夏祭り



空手道 競技大会

議会広報特別委員会
委員長 三輪美由紀
副委員長 山口一博
委員 大石 巖
三輪 正邦
河原崎昇司

あとがき
 厳しい暑さが続きます。異常気象と言われる中で地震、台風、集中豪雨が発生し自然災害の恐ろしさが見られます。
 また、各地において事件、事故が多発しています。常に同報無線や防災ラジオを聞き緊急事態に備えましょう。
 町では津波防災まちづくりとして、シーガーデンシテイ構想が始まっていて、防潮堤の盛土工事も始まります。吉田漁港の花火大会ももうすぐです。
 将来は、多目的広場の高台から花火見物をしたいものです。議会も安心安全なまちづくりに努めます。
 (S・K)